



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-12・RIテーマ



守口ロータリークラブ 週報 No.28



大阪アーバンロータリー
クラブ伝達式プログラム

世界理解月間
平和の日

本日のピアノ演奏

1. ツァーヤング 2. 知床旅情 3. スターダスト

本日例会 2012年02月15日
(第2475回)

「10分間卓話」
三浦 均会員
白井 孝彦会員
担当：職業奉仕委員会

次回例会 2012年02月22日
(第2476回)

「税務の現状 及び
税務から見た近畿の現状」
門真税務署長 工藤 敦久様
担当：会長・幹事

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
02月08日	30	7	82.05%【会員44名】【内免除者5名】
01月28日	25		メイクアップ8名 (64.10%)

前回例会 (2474回) 2/08の主な内容

◎ゲスト紹介

本日の卓話講師
守口市教育委員会
教育長 首藤 修一様

◎守口市中学生スピーチコンテスト

DVD贈呈式
石橋会長より首藤教育長にDVDを贈呈
守口市立中学校 (9校) へ贈呈 (27巻)

◎幹事報告 幹事 川村 弘和

- 2660地区大阪アーバンロータリークラブ認証式で戴いたバナーとプログラムを回覧。
- 榊熊平製作所様より「抜粋のつづり」を会員の皆様に寄贈いただきました。
- 昨年の台風12号により被害を受けました奈良県五條市に支援をさせて頂くことに理事会で承認されました。社会奉仕委員会の活動となります。2月10日に五條市役所に訪問いたします。よって義援金の箱を回しますのご協力をお願い致します。
- 2012～13年度のロータリー手帳の申込をお願いします。締切は2月22日迄です。



◆◆◆委員会報告◆◆◆

親睦活動委員会 (正木副委員長)

- 第2回家庭(情報)集会
日程：2月18日(土) 18:00～
場所：「柿右衛門」



◎国際ロータリー2660新クラブご紹介

【大阪アーバンロータリークラブ】

創立日：2011年12月8日
認証伝達式：2012年2月6日
例会場：ホテルグランヴィア大阪20F
例会日時：水曜日 7:30～8:30
ビジター費：2,500円

■ 会長：石橋 高夫
■ 幹事：川村 弘和
■ 広報雑誌・会報委員長：他谷 勝
URL：http://www.moriguchi-rc.jp/

■ 例会場：守口ロイヤルパインズホテル 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事務所：守口市河原町10-5 守口ロイヤルパインズ5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例会日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

会長 石橋 高夫

立春も過ぎ暦のうえでは春となりましたが、このところの寒さはことの外厳しく、皆様何卒ご自愛下さい。

さて私事で恐縮ですが昨日満七十才になりました。中国の詩人杜甫の歌にある「人生七十古来稀なり」に由来して古希といたり、あるいは「致仕」とも言うそうです。又論語の有名な一文には「七十にして心の欲する所に従えども矩をこえず」とあるように孫子は、この年には自分の欲するままに行動しても、人の道を踏みはずすことがなくなった、行きすぎた振るまいがなくなったと言っています。

今の私には到底考えられない境地です。

せめて孔子様の心境に到るまで、生きられればと思います。おそらく無理だと思います。煩惱をひきずりながらの余生を送る覚悟をいたしております。

ところで孔子様は74才で亡くなっています。したがって「八十二シテ」は論語にはありません。横尾会員、石井会員、熊澤会員、そして中島会員、卓話の時間ぜひとも「八十二シテ」又「九十二シテ」のお話を聞かせていただく事を楽しみにしております。

(～卓話 左下から続き～)

今、学校に求められているのは、教育の不易流行だと思えます。不易（時代が変わっても永遠に変わらないもの）、すなわち「時を守り」「場を清め」「礼を糺す」という、いつの時代であっても守られなければならない事を教えなければなりません。

「学級崩壊」とは、不易が崩れた時です。それは、「略奪」へと繋がるのです。

そして、流行（時代に応じて変化していくもの）にも取り組まなければなりません。そうしなければ、これから国際化していく社会で活躍することはできません。現在、IC機器を活用した授業を行っていますし、小学校1年生から英語も教えています。



卓話

「守口の教育の課題について」

守口市教育委員会
教育長 首藤 修一様

昨年、3月11日に東北大震災が起きました。これは日本の産業構造・日本の文化の在り方のみならず、日本人の意識までも変えました。

避難所生活の様子をテレビで知りました。被災された方が、学校体育館で、つらい思いをされながらも、お互いにあいさつを交わされておられました。生活されている体育館のトイレや住む場所を協力して掃除をおられました。給水車に順番に並び、支援物資の弁当にも順番を守って並び、決して余分なものを取らず、規律ある行動をとられていました。

これは、日本人の性格だという人もいますが、これらは、私には、どこの学校でも、日常見られる風景でした。子どもたちが、学校では、朝、顔を合わせたら「おはよう」といって挨拶し、みんなで分担して、トイレや教室を掃除しています。給食の時間には、当番を決め、交替で取りに行き、平等に分けます。

手前味噌になりますが、被災者の方々の行動様式を見たとき、学校教育の成果だと思えました。

(～卓話 右上に続く)



ニコニコBOX S・A・A

石井 会員 石山芳和会員の再入会を歓迎して。
橋本 会員 例会欠席のお詫び。
石橋 会員 昨日、古希を迎えました。息子が祝にアイパッドをくれました。猫に小判です。

2/8 結婚・誕生 985,000円

四つのテスト

●言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか